

日本頭蓋顎顔面外科学会専門医単位 受講証お申込みのご案内

2026 年 10 月

一般社団法人 日本頭蓋顎顔面外科学会

理事長 奥本 隆行

同専門医委員会

委員長 関堂 充

第 44 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会（2026 年 10 月 29 日（木）・30 日（金））における下記演題の受講は、当学会の専門医単位（教育セミナー）として認められております。

当学会専門医単位用の受講証発行を希望する場合は、下記ご確認の上でお申込みください。

【注意事項】

この受講証は、当学会の専門医単位としてのみ使用できます。

※日形会 専門医の受講証申し込みではございません。

<当学会の専門医単位について>

認定：教育セミナー受講証（本受講証）もしくは学術講習会受講証 2 回分の提出必須。

更新：学会活動歴として使用可能。ただし、1 回の更新申請に使用できる

教育セミナー受講証（本受講証）は、同年度のものは 2 回分（4 点）まで。

<受講証申込み方法>

・各プログラム終了前後に会場内に掲示される【申込みフォームの QR コード】を読み込んで
1 プログラムごとにお申し込みください。

・申請が認められるのは【各プログラムの終了 20 分前～終了後 20 分以内】です。

上記時間外の申請は原則として認められませんのでご了承ください。

・受講証は、後日郵送でお届けいたします。

※上記の方法でお申込みできない場合は、メールに受講証申込みの旨と氏名・希望プログラムを
記載の上、できるだけ当日中に学会事務局 tougai@shunkosha.com へお申込みください。

<対象プログラム>

- 1) 特別講演1：関東大震災と内田孝蔵
- 2) 特別講演2：Multidisciplinary Approach for Facial Vascular Anomalies Management in KNUH Vascular Anomalies Center
- 3) 特別講演3：米国におけるクラニオフェイシャルサージェリー教育の現状
- 4) 教育講演1：筋膜移植術を筋膜から考える
- 5) 教育講演2：形態・機能・成長から考える Maxillofacial Surgery
- 6) 教育講演3：顔面骨へアプローチする手技を再確認しよう！
- 7) 教育講演4：先天性頭蓋顎顔面疾患における包括的アプローチ
- 8) 教育講演5：患者報告アウトカムの基礎知識：口唇口蓋裂用質問紙 CLEFT-Q を例に
- 9) Korean Specialists Mini Lecture
- 10) シンポジウム1：眼瞼痙攣の難所を越えろ
- 11) シンポジウム2：Craniofacial Orthodontics とはなにか？
- 12) シンポジウム3：頭頸部再建：頂を目指してー最適術式への登攀プロセス
- 13) シンポジウム4：顔面神経麻痺の峠を越える
- 14) シンポジウム5：顔のきれいな稜線と起伏をどう描く？
- 15) パネルディスカッション1：この顔のアザ、どう越える？
- 16) パネルディスカッション2：きれいな瞼の縁と溝を作る
- 17) パネルディスカッション3：頭頸部低流速脈管奇形の谷を越える
- 18) ガイドラインシンポジウム

<申込みフォーム>

※日形会の単位としては使用できません！

※頭蓋顎顔面外科学会の専門医 専用です

<https://forms.gle/RcHt6ZND4Sqj2bHe8>

※同年度のセミナーは2回分しか申請に利用できません。



<お問合せ>

日本頭蓋顎顔面外科学会 事務局 tougai@shunkosha.com